

芸術・文化フォーラム(ACF)の概要

1. アート・カルチャー・フォーラム(ACF)ビジョン

○理念 : つなぐ(ひと)・つくる(場)・育てる(まち) (市民と芸術家と行政のトリプルWINのために)

○形 : 札幌アートセンタを創設し、そこを拠点として、芸術家と市民そして行政を結ぶネットワークを形成し、芸術・文化情報の発信と芸術・文化の形成・育成を通して市民と協働の芸術・文化のあふれるまち作りを目指す。

○ アート・マスタープラン

・アートドリーム	芸術・文化とふれあい・育む活動
・アートタウン	芸術・文化を活用したまちづくり活動
・アートフォーラム	芸術・文化の意見収集と提言活動
・アートシンクタンク	芸術・文化の調査・研究活動
・アートネットワーク	芸術・文化情報の提供と収集活動
・アート・マネジメント	芸術文化を楽しむ「場」をつくる活動
・アートバンク	芸術・文化アーカイヴ活動

2. アート・カルチャー・フォーラム(ACF)の設立趣旨

札幌と世界を結ぶアート情報発信・受信機能を持つ札幌アートセンタを創設すること、札幌大通を市民に開放し、芸術特区として、芸術家達が自由に表現できる場にしていくことを目指し、芸術家と市民の芸術・文化に関する情報を行政に届けようとの思いを踏まえて多角的に議論し、ACフォーラムなどの開催を通じて方向を探ってきた。

今や行政側の市民会館後継施設のあり方や、札幌駅前通地下街工事のもたらす芸術・文化活動との係わりや創成川通の新しい芸術・文化拠点の創出・・・等々札幌市における芸術・文化政策が大きく進展しようとしており、行政と芸術・文化関係者と市民をつなぐACFの働きの重要性が緊急のものとなってきている。

ACFには、札幌・近郊在住の芸術家達の緩やかなネットワークが既に構築されており、そのメンバーも86名に及んでいる。芸術・文化を支えるボランティア団体の役員も結集されており、行政を巻き込んだ勉強会の実施や、芸術家達の知識・知恵を市民や行政へ提案することも可能であり、芸術家達の知的財産を次世代に継承していくことの重要性は言うまでもない。そのためにも市民と芸術家と行政がお互いを「見える」関係に結びつけることこそ、市民文化度の向上と、芸術家たちの芸術度の向上につながり、強いては「さっぽろのまち」が真に芸術・文化のあふれるまちになる条件である。その重要な媒体としての担い手こそがACFと位置づけ、積極的に行動していくことが重要である。

3. アート・カルチャー・フォーラム(ACF)の事業運営体制

(1) ACF組織構成

① ACF総会(年1回開催)

芸術・文化呼びかけ人会議とACF運営委員会で構成し、ACFの方向性や事業戦略等について検討する

② ACF-B(ビューロー)～随時開催し、具体的運営の意志決定機関とする

(運営委員会メンバー)

- ・顧問: 経済界、学識界、文化芸術界・・・逐次選出
- ・企業: ACF支援企業・・・逐次選出
- ・芸術・文化フォーラム呼びかけ人会議共同代表: 小檜山博氏、竹村泰子氏、千田雅子氏、中野北溟氏、原子修氏、三部安紀子氏 (賛同者平成20年7月末現在87名)

・代表理事: 原子 修

副理事: 各プロジェクトリーダー

・事務局長: 西川吉武

・事務局次長: 関鎮京、寺林利郎、端 聡

・事務局: 若月富男、赤石知恵子、上野葉子

(事務局 東区北12条東1-4-23 21世紀ビル(有)ピーシーコム内 tel/fax 011-753-5535)

(2) 現在のACFプロジェクト

ACFアートセンタ提言PT(アート・サポート・センタへの提言)

ACフォーラム開催PT(市民への公開フォーラムを開催)

ACFアートサロン開催PT(みべ音楽院を拠点に開催)

ACF大通イベント開催PT(大通イベント開催企画)

ACFアートネットワークPT(芸術・文化ボランティア組織をつなぎアート情報交流する)

(3) 現在までの活動履歴

① ACFアートサロン開催(座長～三部安紀子)

第1回: 平成20年6月1日(日) 能藤玲子創作舞踊団代表(開催結果: 54名参加)

第2回: 平成20年8月3日(日) 書家 中野北溟先生 (開催結果: 56名参加)

第3回: 平成20年10月5日(日) 版画家 渡会純介氏 (開催結果: 50名参加)

② ACフォーラム開催

第1回: 平成19年7月25日(水) 時計台ホール(参加者170名)

「感動の一滴」「札幌賛歌」原子修詩 三部安紀子朗読 ピアノ演奏

「徹底討論」一言メッセージを通して芸術・文化フォーラムの歩む方向を探る

第2回: 平成19年11月27日(火) 丸井今井10F〔参加者140名〕

「感動の一滴」三上勝由(大道芸人)、「札幌賛歌」原子修詩 竹村泰子朗読 土田英順チェロ演奏

「徹底討論」大通公園を芸術・文化ゾーンへ

第3回: 平成20年9月17日(水) U-Cala(内田洋行ショールーム)〔参加者110名〕

「感動の一滴～ギター演奏」、「札幌賛歌」～原子修詩 たけだりょう朗読、若狭弘樹ギター演奏

「徹底討論」(仮称)市民交流複合施設基本計画(素案)に対する提言

チャリティーオークション等々会費1000円

全国音楽ボランティア 札幌フォーラム

2006年7月30日～31日
主催：全国音楽ボランティア
札幌フォーラム実行委員会



全国音楽ボランティア札幌フォーラム



- 音楽とボランティアが、まちの個性を奏ではじめた
- 記念講演会
- 分科会
- 全体会
- 交流会



フォーラム前日
7月29日 12:00～13:00



- オプション
札幌コンサートホールバックステージツアー



フォーラム前日
7月29日 16:00～18:00



- ゲネプロ見学



フォーラム1日目
7月30日 11:00～20:00



- PMFピクニックコンサート見学



フォーラム2日目
7月31日 10:15～11:45

- 記念講演
「芸術文化のあるまち」
森田美由紀氏（NHKアナウンサー）

…音楽を愛する気持ちが
仲間を呼び、まちを元気にしていく



フォーラム2日目
7月31日 13:10~15:10



●分科会・・・次のページに4分科会の説明

フォーラム2日目
7月31日 13:10:~15:10 分科会

- 第1分科会 音楽ホールの運営を支えるボランティア
座長:川田耕太郎(Kitaraボランティア) アドバイザー:藤垣秀雄(札幌コンサートホール)
- 第2分科会 オーケストラを支援するボランティア
座長:大平まゆみ(札幌コンサートマスター) 西川吉武(札幌くらぶ副会長)
- 第3分科会 音楽フェスティバル及びコンクール開催に関わる活動を行うボランティア
座長:谷口雅春(フリーライター) 榊原綾子(PMFボランティア「ハーモニー」)
- 第4分科会 自主公演開催ボランティア
座長:向井和恵(市立札幌病院ボランティアの会コーディネーター)
後藤道(財団法人 札幌国際プラザ市民交流課次長)

フォーラム2日目
7月31日 15:30~17:30



●全体会

フォーラム2日目
7月31日 18:00~20:00



●交流会

～フォーラムメッセージ～

全国音楽ボランティア
札幌フォーラム

音楽への想いが
まちをつなげる
地域の営みを
豊に深める



全国音楽ボランティア
札幌フォーラム

音楽ボランティアフォーラムの
継続と発展を願っています・・・。